

資料7-1(2)

競技会場及び会場設備等の概要
(2) 冬季大会

競技種目名	会場(面)数	競技場の内容	練習会場	その他の配慮事項
スキ		大回転 ・標高差250m～400m(女子350m) ・コース幅 40m以上		・安全性を第一に、方向指示, 防護ネットが必要 ・旗門審判員は20名以上 ・競技運営指導員10名以上
	アルペン	回転 ・標高差 男子 140m～220m 女子 120m～180m ・コース斜度 20度～27度 ・旗門数 男子 55～75 女子 45～60		・スタート・ゴール付近に小屋・選手控室・トイレが必要 ・救護体制を整える ・放送施設
	クロスカントリー	2本のシュプールが十分作れること		・コースの計測は巻き尺で実測 ・1Kmごとに表示板を立てる
スケート	ジャンプ	ミリアムヘル		・SAJ連盟シヤンツェ設計委員会規程によるもの以外は公認しない
	スピードスケート	1	400mリンク	
	フィギュア	1	60m×30mリンク	
	アイスホッケー	2～3	60m×30mリンク	・リンク3面の方が時間的に余裕がある